

脳血流 SPECT 診断の 注意点

2008年**5月9日** [金]

12:00～12:50

第5会場 (パシフィコ横浜 4F 416-417)

座長

中川原 譲二 先生

医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長

講演1

血行力学的脳虚血の概念

山内 浩 先生

京都大学大学院医学研究科 高次脳機能総合研究センター
脳機能イメージング領域 准教授

講演2

SPECTの定量化と標準化

—脳循環領域での利用でわかったこと

飯田 秀博 先生

国立循環器病センター研究所
先進医工学センター 放射線医学部 部長

脳血流SPECT診断の 注意点

脳主幹動脈のアテローム血栓性脳梗塞の二次予防として、EC-IC Bypass術が役立つsubgroupが存在することがJET studyによって明確となった。また、同時にこの研究では、術前の脳血流SPECTによって診断される血行力学的脳虚血Stage IIが手術適応判定のためのsurrogate markerとなることが明らかにされた。講演では、血行力学的脳虚血の概念に関して、最近の研究結果に基づいた病態診断上の注意点が解説されるとともに、SPECT定量診断の標準化に関して、脳循環領域の利用結果に基づいた測定精度管理上の注意点などが解説される。EC-IC Bypass術に携わる脳神経外科医にとって、脳血流SPECT診断による適応判定は不可避であり、脳血流SPECT診断の注意点を再確認することが重要である。

中川原 譲二

[医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長]

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

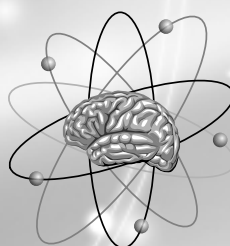
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN